

読売光と愛・郡司ひさる奨学基金 卒業報告

17 期生

「家売るオンナ」に 結婚・出産しても会社に必要な人材に

関西大学を卒業し、不動産会社に就職した女性



4 年間の大学生活が終了しました。4 月 1 日から新社会人として働きだします。私はこの 4 年間、大学に通うことができ本当に良かったと思っています。私にとってこの 4 年間は、何ができるのか、何がしたいのか、本当の意味で自分と向き合う事のできた時間だったと感じています。がむしゃらにアルバイトに励んだり、ゼミの活動に取り組んだり、就職活動で悩んだ日々は私が次の道を決める為に必要不可欠な時間でした。

4 年間を振り返っても、家族と生活できない私が、進路について大学の選択肢を与えてもらい、大学生活を 4 年間送ることができ、卒業できたのも、郡司奨学基金や施設の先生方のおかげだと感謝しています。

私はこれから不動産会社で働きます。この会社に入社を決めたのは、この会社でやっていけたら一番自分に自信が持てるようになると思ったからです。一般企業である不動産関係の会社には多くの競争相手がいます。今まで他人の力を借りていたのですが、今後は自分の力で、その競争に負けないように努力したいのです。正直、あまり楽な環境とは思いませんが、この選択が良かったと思えるかどうかは、これからの自分の取り組みかた次第だと考えています。自分が何故この会社に入社する事を決めたのかを忘れずに、1 日 1 日を無駄にしないように働いていきたいと思っています！

今の私の夢は、自分の家庭を築くことです。私は施設での生活が長く、家庭で生活してきた経験が少ないので、自分の家庭を築きあげたいです。そして、まだ模索中でどこまでやれるかわかりませんが、これまで受けてきた支援のお返しも何らかの形でしていきます。この夢を実現させるためには、自分の地位を確立し

ていくことが大事だと考えます。結婚や出産を経ても会社から必要とされる人材に成れるように、目の前の結果にこだわって働いていきたいと思います。

こんな風に社会人としてのスタートに立てることを本当に幸せだと感じています。上手くいかないこともあると思いますが、諦めたらそこから何もうまれないと思うので、愚直に自分の可能性を信じて頑張りたいと思います！

アルバイト先で評価され、ペットショップの正社員に

帝京科学大学アニマルサイエンス学科を卒業した女性

4年間という長い学業を終え、4月から社会人として頑張る気持ちでいっぱいです。就職先はアルバイトをやっていた場所（ペットショップ）です。これまで頑張ってきた仕事を評価していただき、上司から社員にならないかと推薦していただき、この度晴れて社員として働ける場を得ることが出来ました。今はアルバイトをしながら社員としての研修もさせていただき、毎日が充実しています。4月からは、社員としての自覚や誇り、責任感を背負いながら今まで先輩方にしていただいたことを私も後輩達にしていきたいと考えています。

4年間、支援をしていただき、」ありがとうございました。途中で、学業を断念しそうになった時も支援してくださるということが大きな励みになったことは言うまでもありません。正社員になると、仕事量も増え大変になるかと思いますが、いろいろな方に支援していただいたことを忘れずに頑張っていきたいと思います。

自動車の設計開発の夢を追求して大学院に進学

北九州市立大学を卒業し、九州大学大学院に進学した男性

3月23日に学士(工学)を取得・卒業しました。4月から九州大学大学院航空宇宙工学専攻に進学します。本当にあっという間の4年間でした。入学前、郡司奨学生の皆さんで行った東京バスツアーを懐かしく感じます。

大学入学当初は、本当に4年間やっていけるのか不安でした。中でも一番不安だったのが、提出物の期限に間に合わせることでした。高校時までは提出物や宿題をおろそかにすることが多く怒られてばかりだったので、単位取得がかかっている大学の提出物は絶対に間に合わせるのだと、徹夜をしてまで必死にやったのはいい思い出です。2年次以降は、専門科目の量が徐々に増えていき、授業の難易度もさらに上がっていきました。アルバイトも掛け持ちでやっていたので両立が大変でしたが、2年連続で成績優秀者表彰を受けることが出来ました。そんな大学生活の中でも、4年次の卒業研究が一番密度の濃い経験となりました。高速で流れる気体の“流れ”のシミュレーションが研究対象でしたが、自分の欲しい

データが得られなくて研究室に泊まり込みで解析を行った時期もあるなど何度も壁にぶつかりました。その度に研究室の同期や先輩方、先生方に助けられながら研究に励み、卒業論文を作成・発表することが出来ました。1年間の卒業研究を通して、物事に取り組むときには「問題意識」を持ち能動的に行動することが大切であることを学びました。



【後列左から2人目が本人】

車の設計開発に携わるという夢を追って大学院修士課程を過ごしていきたいと思っています。このように大学・大学院に進学することが出来たのも、施設の先生方や事業団のご支援、家族・友人をはじめとする周りの方々の応援があったからこそで、本当にありがとうございました。

新たに郡司奨学生になりました21期生の皆さん、大学や専門学校では授業も今まで以上に専門性を増してきます。また、児童養護施設退所後の生活に不安を感じている方もおられると思います。今後様々な壁にぶつかることもありますが、皆さんそれぞれの夢を強く持ち続けていれば、どんな壁でも突破できることでしょ。よ。これからの学校生活頑張ってください。

学業以外でも様々な経験を行うことが出来ました。2年次には(社)自動車技術会主催の自動車工学基礎講座自動車に参加し、自動車工学の概要について学ぶとともに、企業の方と直接話すことで、とても有益な経験を行うことが出来ました。3年次には福岡県主催の自動車メーカー視察会に参加し、普段見られない自動車設計開発の最前線を見ることが出来ました。サークル活動では、2年間サークル長を務め、サークルの運営に携わりました。

大学院は航空宇宙系ですが、研究内容は自動車の周りの流れ場の解析で少し機械系寄りになります。これからも自動

保育園で栄養士として働きながら管理栄養士目指す

聖霊女子短大専攻科を卒業し、都内の保育園に栄養士として勤める女性



とうとう学生生活を終えることになりました。

昨年から行っていた特別研究も終えて、無事学士を取得することも出来ました。4年間は長いようで短い時間でしたが、とても充実した生活を送ることが出来ました。特に、特別研究では普段することの出来ない実験や調査なども行うことができて、大変でしたが、良い経験になりました。

そして春からは東京の保育園で栄養士として働きます。今は引っ越しの準備に追われながらも少し緊張しています。友人との別れは寂しいですが、新しい環境、初めての就職、新しい人との出会い、新社会人と

して気を引き締めて勤めたいと思います。4年間学校に通うことが出来たことをとても感謝しています。

2年後に控えている管理栄養士国家試験では、合格報告ができるよう勉強も頑張りたいと思います。

看護学校を卒業 上京してプログラミングの道に

県立鳥取看護専門学校を卒業する男性

3月を以って卒業することが出来ました。残っていた実習、国家試験に向けての勉強をなんとか乗り越えることが出来ました。国家試験も自己採点では合格ラインになり、おそらく資格の取得ができると考えています。これは様々な方々から支えて頂いたからこそ、自分は達成できたのだと思います。

※その後、合格と連絡あり。

自分は看護の道には進みません。支援して頂いたのにも関わらず、大変申し訳ありません。それでも自分に後悔はなく、新しいことへの挑戦に意欲が湧いています。今すぐには無理でも、自分と似たような境遇の子たちに、今度は自分が支援できるようにこれから歩んでまいります。

※東京都内に引っ越し、IT関係の専門学校に進学

※山口県の梅光学院大学を卒業した女性からは報告が届きませんでした。

18 期生

今度は私が子どもたちを応援する立場に

愛知県内の短大を卒業し、児童養護施設の職員となった女性

短大の幼児教育学科第三部を卒業し、幼稚園教諭第二種免許状、保育士資格、福祉主事任用資格を取得いたしました。

今後は、豊橋にある児童養護施設の職員として4月から働きます。

学生生活を振り返ると、あっという間の3年間だったと感じています。知らない土地で不安なことも多くありましたが、すぐに友人もできましたし、フットサルのサークルにも所属し、学業、アルバイトだけでなく趣味にも時間を割くことができ、とても充実した学生生活を送ることができました。授業でも検定を受けられるようなカリキュラムが組まれており、この大学で本当によかったと思いました。また、私はクラスの先頭に立つ経験を何度かさせていただきました。特に昨年の12月にありました、大学のクリスマスコンサートでは、人の上に立つ大変さを改めて実感しました。この経験は必ず仕事に役立ちます。この大学だから学べた、経験できたことはたくさんあるので本当に良かったです。

後輩へのアドバイスとしては、1人暮らしを経験すると必ず分かると思いますが、今まで施設に居たけど、全部自分で身の回りのことをしなければならないし、風邪をひいても誰もいないので、こまめに家事をすることと、体調管理をしっかりすること、そして無理はしないことが私は大切だと思います。

私はこの3年間、多くの人に支えられていることに気がつきました。私のことを応援している人がいたから、ここまで頑張れました。就職してからは私が子どもたちの夢を応援する立場になります。今までの経験を役立てながら仕事に取り組んでいきたいです。

20 期生

塗装のプロになって社会貢献

高崎産業技術専門校を卒業し、群馬県内の塗装専門会社に就職した女性

私はこの1年間とても楽しい時間でした。

無事に就職先もみつかりました。9月27日、群馬県伊勢崎市の塗装専門会社に採用内定をいただきました。

専門校で勉強した内容を活かし、社会貢献できるよう頑張っていきたいです。
また、私の入っていた塗装システム科は、終了検定がありました。終了検定に合格しないと卒業できないので、無事に合格できました。1回で合格したため、技能照査試験の2級の筆記免除になりました。